

# 2020年3月期 決算説明会

2020年5月25日

株式会社エヌアイデー

(証券コード：2349)

## 1. 2020年3月期決算概要

## 2. 中期経営計画の総括



## 3. 2021年3月期通期見通し

## 4. トピックス（2019年10月～2020年3月）

## 付録：データ資料

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後の日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございます。あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

# 1. 2020年3月期決算概要

## 2. 中期経営計画の総括



## 3. 2021年3月期通期見通し

## 4. トピックス（2019年10月～2020年3月）

## 付録：データ資料

# 2020年3月期決算の概況

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 期初予想	2020年3月期		
			前期比	予想比	
売上高	17,964	19,000	18,017	+0.3%	△5.2%
営業利益	1,983 (11.0%)	1,900 (10.0%)	1,940 (10.8%)	△2.2%	+2.1%
経常利益	2,168 (12.1%)	2,060 (10.8%)	2,279 (12.7%)	+5.1%	+10.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,444 (8.0%)	1,390 (7.3%)	1,266 (7.0%)	△12.3%	△8.9%

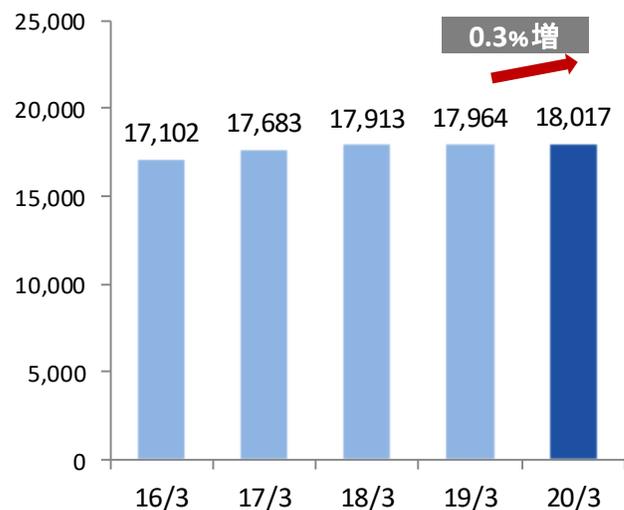
期初予想を下回るも、前期比では増収を達成。

期初予想を上回り、前期とほぼ同水準の結果に。

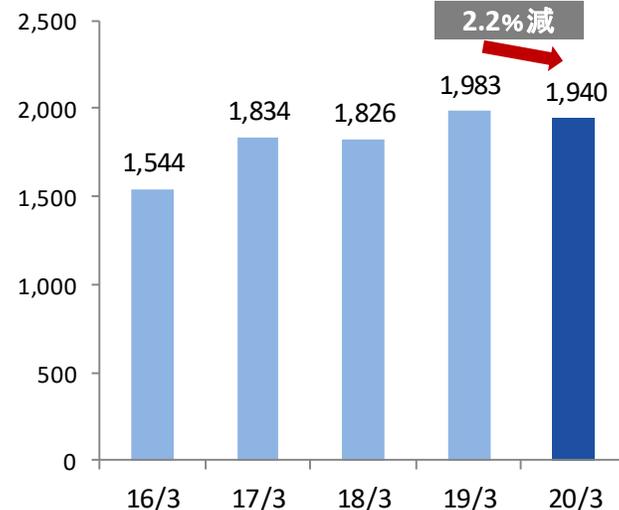
7期連続最高益更新。前期比、予想比ともにプラス。受取配当金247百万円、助成金収入53百万円の計上が主因。

前期比、予想比ともに大きくマイナス。投資有価証券評価損274百万円の計上が主因。

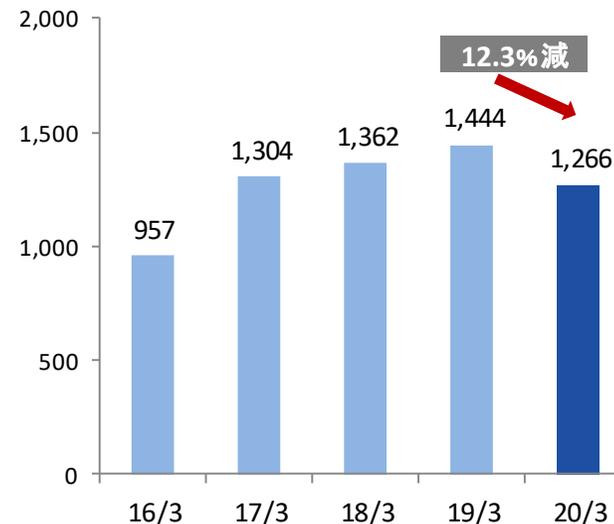
【売上高】



【営業利益】

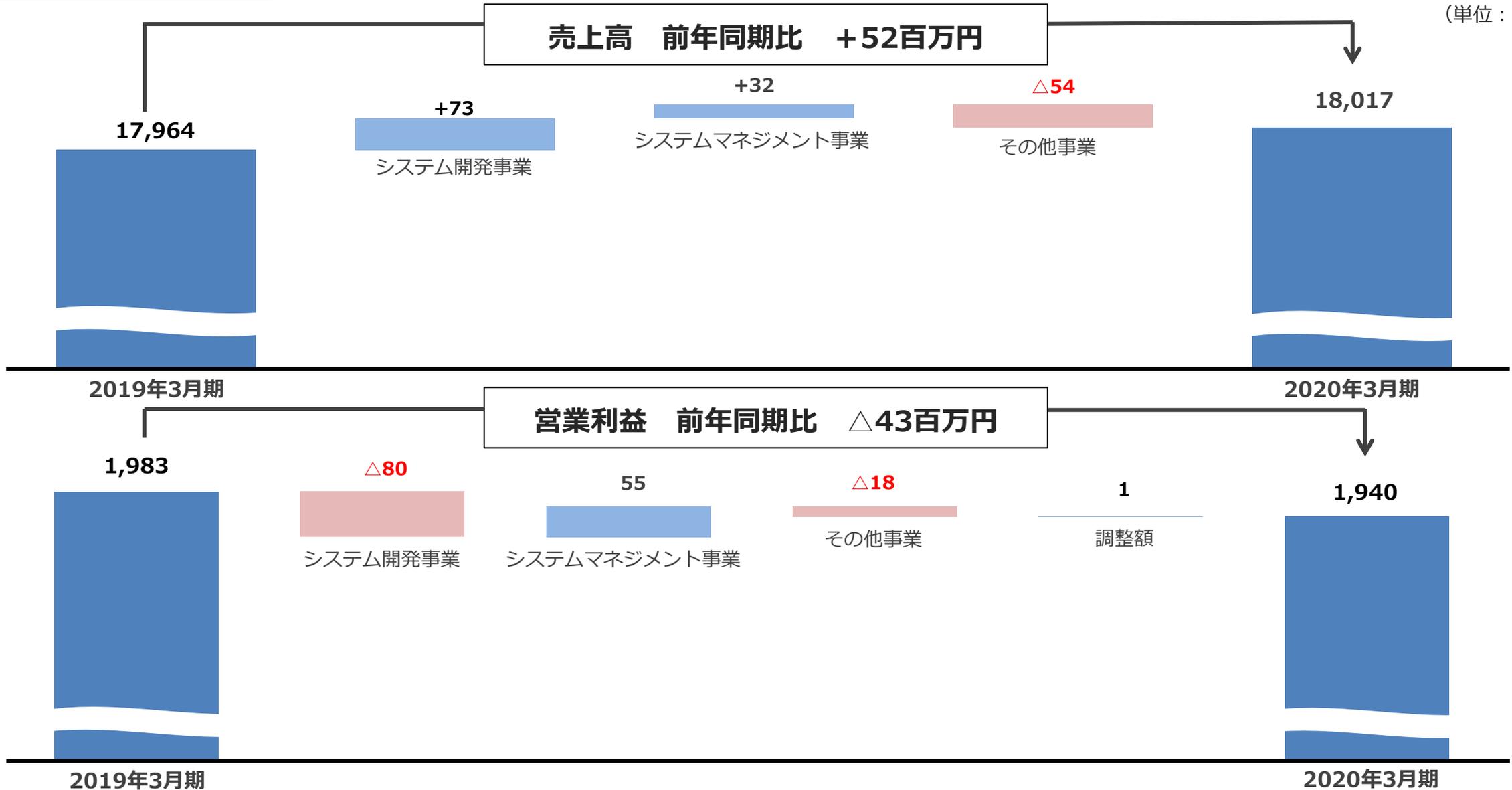


【親会社株主に帰属する当期純利益】



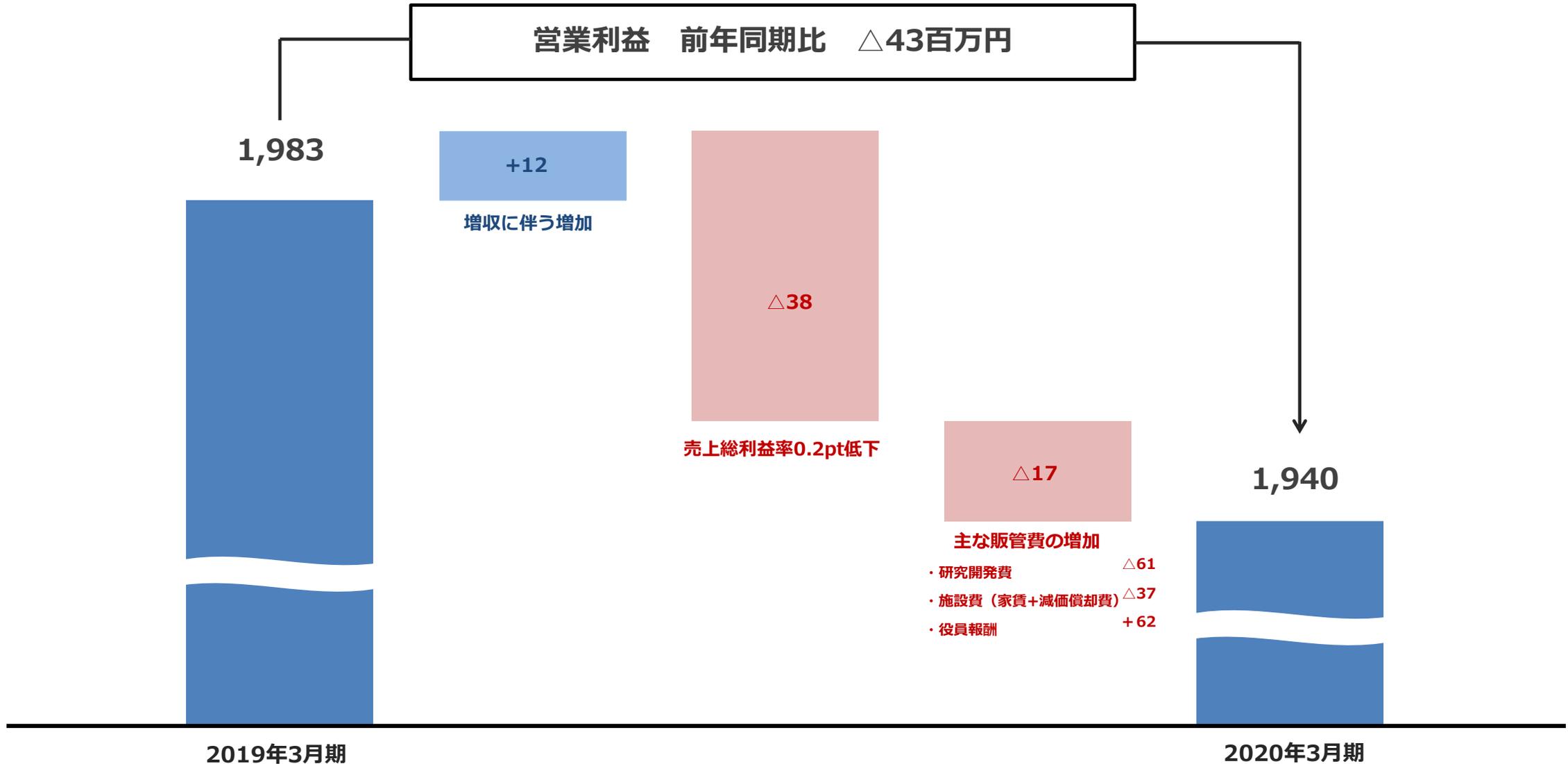
# 売上高・営業利益のセグメント別前年同期比較

(単位：百万円)



# 営業利益差異分析（前年同期比較）

（単位：百万円）



# 連結貸借対照表

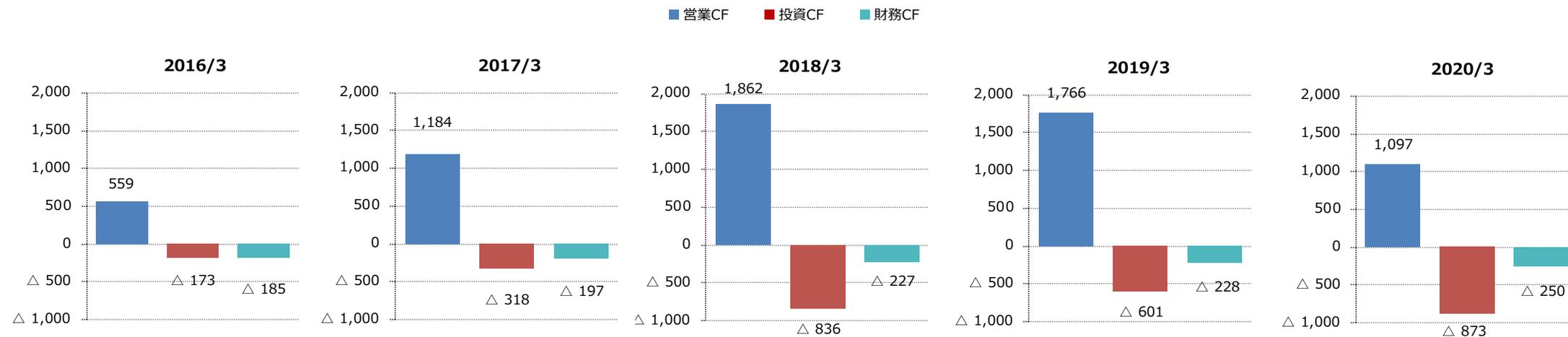
(単位：百万円)

	2019年 3月末	2020年 3月末	増減額	主な増減要因
流動資産	12,276 (67.1)	12,789 (67.2)	+512	受取手形及び売掛金 +339
固定資産	6,022 (32.9)	6,254 (32.8)	+232	無形固定資産その他 +85
資産合計	18,299 (100.0)	19,044 (100.0)	+744	
流動負債	2,571 (14.0)	2,527 (13.3)	△44	未払金 △133
固定負債	3,028 (16.5)	2,928 (15.4)	△99	役員退職慰労引当金 △132
負債合計	5,600 (30.6)	5,456 (28.6)	△144	
純資産合計	12,699 (69.4)	13,588 (71.4)	+888	利益剰余金 +1,028 その他有価証券評価差額金 △148
負債純資産合計	18,299 (100.0)	19,044 (100.0)	+744	

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額	主な増減要因
営業活動によるCF	1,766	1,097	△668	税金等調整前当期純利益 △137 役員退職慰労引当金の増減額 △162 売上債権の増減額 △531 未払金の増減額 △130
投資活動によるCF	△601	△873	△272	出資金の払込による支出 △100 無形固定資産の取得による支出 △139
財務活動によるCF	△228	△250	△22	
現金及び現金同等物期末残高	8,876	8,849		



# セグメント別売上・利益構成

(単位：百万円)

セグメント名	2019年3月期 実績		2020年3月期 予想		2020年3月期					
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	実績		前期比		予想比	
					売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
システム開発事業	11,461	1,476 (12.9%)	12,469	1,445 (11.6%)	11,535	1,395 (12.1%)	+0.6%	△5.5%	△7.5%	△3.5%
システムマネジメント事業	5,008	406 (8.1%)	4,944	381 (7.7%)	5,040	461 (9.2%)	+0.7%	+13.6%	+1.9%	+20.9%
その他事業	1,494	95 (6.4%)	1,585	72 (4.5%)	1,440	76 (5.3%)	△3.7%	△19.3%	△9.2%	+6.5%
連結計	17,964	1,983 (11.0%)	19,000	1,900 (10.0%)	18,017	1,940 (10.8%)	+0.3%	△2.2%	△5.2%	+2.1%

# システム開発事業

(単位：百万円)

## ■売上高・営業利益

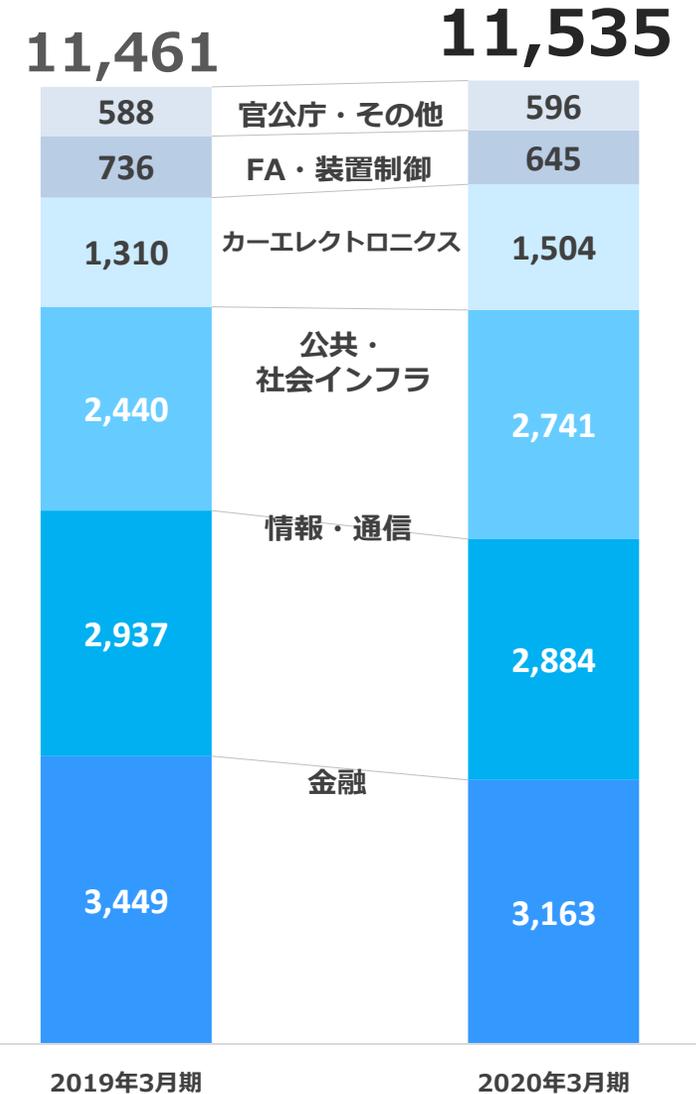
	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比
売上高	11,461	11,535	+ 0.6%
営業利益 (営業利益率)	1,476 (12.9%)	1,395 (12.1%)	△ 5.5%
金融	3,449	3,163	△ 8.3%
情報・通信	2,937	2,884	△ 1.8%
公共・社会インフラ	2,440	2,741	+ 12.3%
カーエレクトロニクス	1,310	1,504	+ 14.8%
FA・装置制御	736	645	△ 12.3%
官公庁・その他	588	596	+ 1.4%

生産性の低下した案件が発生したことにより減益。

引き続き電力系案件が順調に伸長し増収。

エネルギー系案件の収束により減収。

## ■売上高・棒グラフ



# システムマネジメント事業

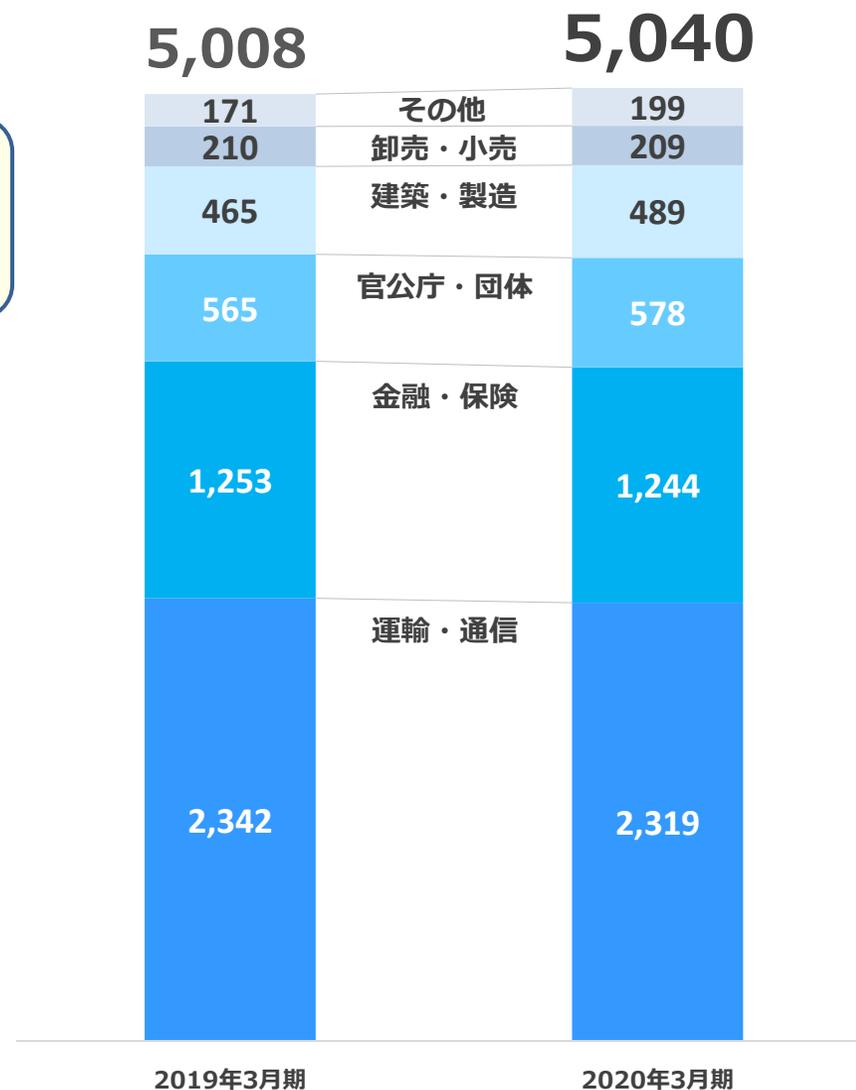
(単位：百万円)

## ■売上高・営業利益

	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比
売上高	5,008	5,040	+ 0.7%
営業利益 (営業利益率)	406 (8.1%)	461 (9.2%)	+ 13.6%
運輸・通信	2,342	2,319	△ 1.0%
金融・保険	1,253	1,244	△ 0.7%
官公庁・団体	565	578	+ 2.4%
建築・製造	465	489	+ 5.3%
卸売・小売	210	209	△ 0.5%
その他	171	199	+ 16.3%

AWS環境構築案件やスポット案件等の増加による。

## ■売上高・棒グラフ



# その他事業

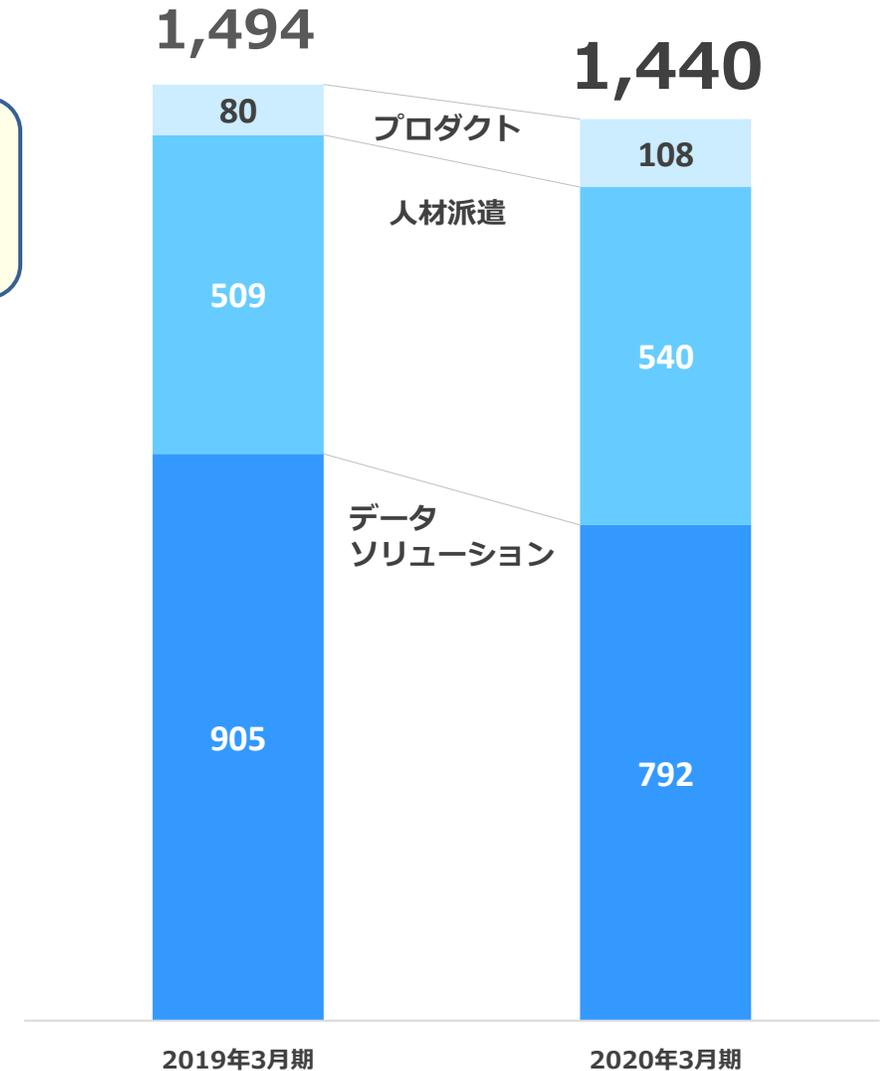
(単位：百万円)

## ■売上高・営業利益

	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比
売上高	<b>1,494</b>	<b>1,440</b>	△ <b>3.7%</b>
営業利益 (営業利益率)	<b>95</b> (6.4%)	<b>76</b> (5.3%)	△ <b>19.3%</b>
データソリューション	<b>905</b>	<b>792</b>	△ <b>12.5%</b>
人材派遣	<b>509</b>	<b>540</b>	+ <b>6.1%</b>
プロダクト	<b>80</b>	<b>108</b>	+ <b>35.0%</b>

データソリューション事業  
の受注減少の影響による。

## ■売上高・棒グラフ



1. 2020年3月期決算概要

2. 中期経営計画の総括

 ~Smile2020~

3. 2021年3月期通期見通し

4. トピックス（2019年10月～2020年3月）

付録：データ資料

## 中期経営計画策定時の想定

### ①市場環境

IoT、AI、ビッグデータ、クラウドなどは伸長。  
国内ITサービス市場の成長は鈍化。  
既存の受託開発システムは縮小。

### ②顧客動向

IT投資は企業の競争力強化（攻めのIT）へシフト  
（事業の差別化・柔軟でスピードある変革）。

### ③社会環境

生産年齢人口は今後大きく減少。

## 最終年を終えて

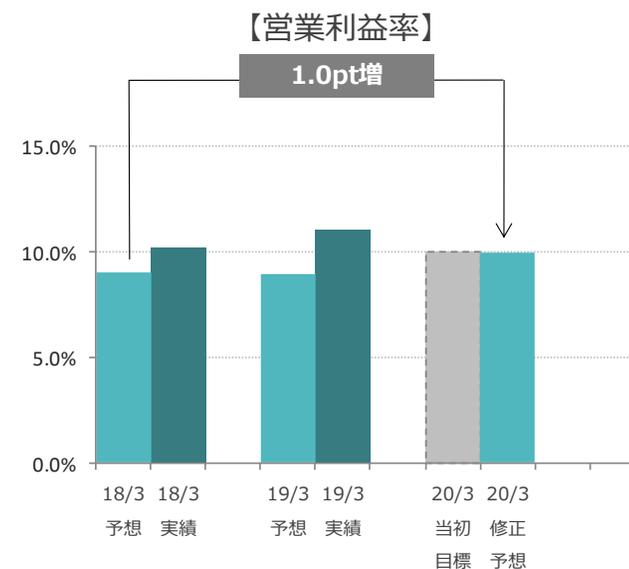
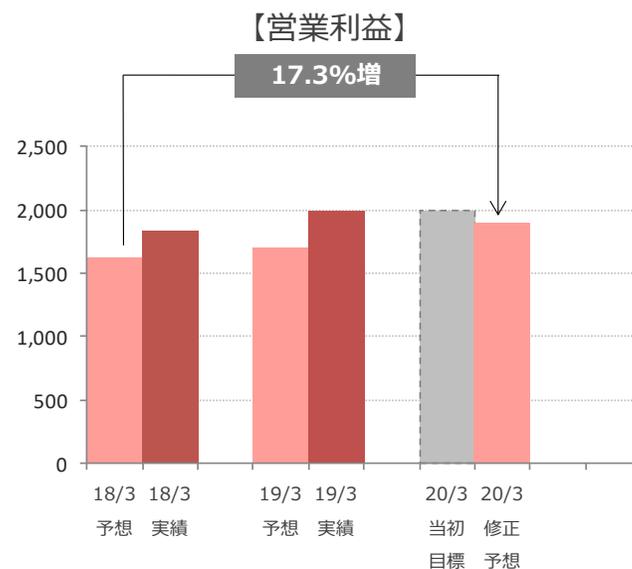
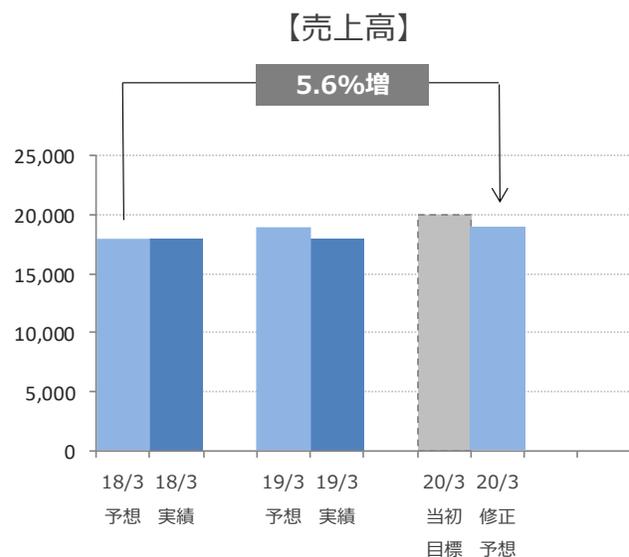
IoT、AI、ビッグデータ、クラウドなどの伸長は想定通り。これに加え、RPAの伸びが大きかった。  
国内ITサービス市場の成長は鈍化も想定通り。  
既存の受託開発システムは、想定していたよりも縮小幅は小さく、ペースも緩やかだった。

「攻めのIT投資」へのシフトは一層鮮明に  
（ITを活用したビジネスモデル変革へ向けた投資）。

最新の日銀短観雇用人員判断DIによると、新型コロナウイルスの影響はあるものの、依然として中小企業を中心に人手不足感はバブル期並みの水準となっており、技術者不足は想定以上だった。

## ◆2019年5月に「Smile2020」の目標値を変更

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期		
	実績	実績	当初目標	修正目標	当初目標比
売上高	17,913	17,964	20,000	19,000	△5.0%
営業利益 (営業利益率)	1,826 (10.2%)	1,983 (11.0%)	2,000 (10.0%)	1,900 (10.0%)	△5.0%



## ◆ 目標値を変更した理由について

市場での技術者不足が想定以上で、ビジネス・パートナー調達及び新卒・中途採用が難航。



限られたリソースを得意分野へ集中させ、生産性を向上させる。



新規受注については、低採算案件や高リスク案件受注を慎重に検討しながら判断。



売上高190億円、営業利益19億円にそれぞれ目標を修正。

# 中期経営計画総括

(単位：百万円)

- 売上高は每期増収を維持するも、修正した目標には未達。調達の不調が最大の要因。
- 収益性を重視したことにより、営業利益率は目標を達成。
- 3年間累計では、営業利益額の目標を達成。
- 今後も営業利益率10%以上を継続的に計上しつつ、売上高拡大を図る。

	中期経営計画目標 (3年間累計)	中期経営計画期間実績 (3年間累計)		
			目標差異	評価
売上高	55,900	53,894	△2,006	×
営業利益	5,220	5,749	+529	○
営業利益率	9.3%	10.7%	+1.3pt	○



**次期中期経営計画につきましては、外部環境をはじめとした前提条件を予測することが困難なことから、公表を延期いたします。今後、合理的な業績予想の算出が可能となった段階で再度見直しを行い、然るべき時に公表いたします。**

1. 2020年3月期決算概要

2. 中期経営計画の総括

 ~Smile2020~

**3. 2021年3月期通期見通し**

4. トピックス（2019年10月～2020年3月）

付録：データ資料

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから、「未定」としております。合理的な業績予想の算出が可能となった段階で開示いたします。

1. 2020年3月期決算概要

2. 中期経営計画の総括

 ~Smile2020~

3. 2021年3月期通期見通し

**4. トピックス（2019年10月～2020年3月）**

付録：データ資料

# トピックス（2019年10月～2020年3月）

10月

- 2019 Japan IT Week【秋】内の「第3回 AI・業務自動化展【秋】」に出展

11月

- AIチャットボット「Mesoblue」のサービス提供開始
- ITAフォーラム2019 「ITA-AIコンテスト」最優秀賞受賞
- 「ITAロボコン」3位入賞

12月

- 中部事業所移転

1月

- 食とヘルスケアをテクノロジーで融合させて提供する「株式会社オクタウェル」との業務・資本提携

2月

3月

- 慈恵医大と共同で「医療機関における画像診断支援AI アプリ」実証実験開始（乾癬の診断）
- 「AWS Partner Network（APN）アドバンストコンサルティングパートナー」に認定

# トピックス（2019年10月～2020年3月）

## ◆Japan IT week【秋】に出展（2019年10月）

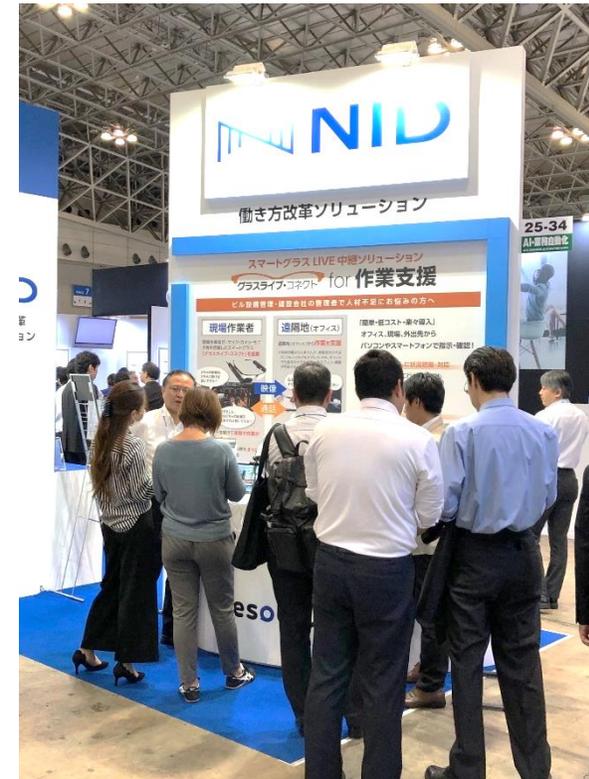
Japan IT week【秋】内の「第3回 AI・業務自動化展【秋】」に出展。

『Mesoblue AI』 『NIDクラウドサービスfor AWS』 『グラスライブ・コネクト』を展示。

### ● 『Mesoblue AI』 展示ブース



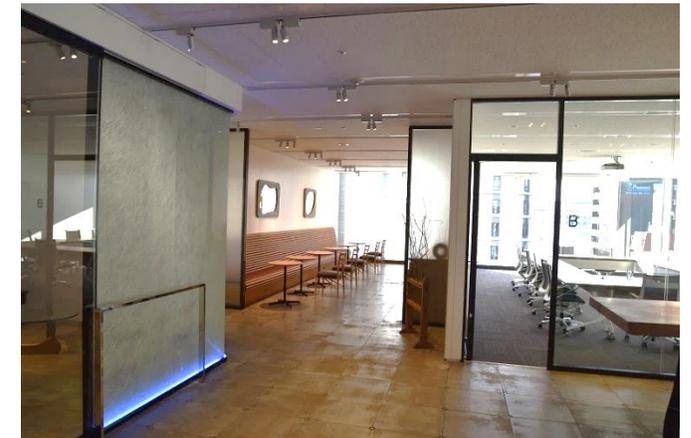
### ● 『グラスライブ・コネクト』 展示ブース



# トピックス（2019年10月～2020年3月）

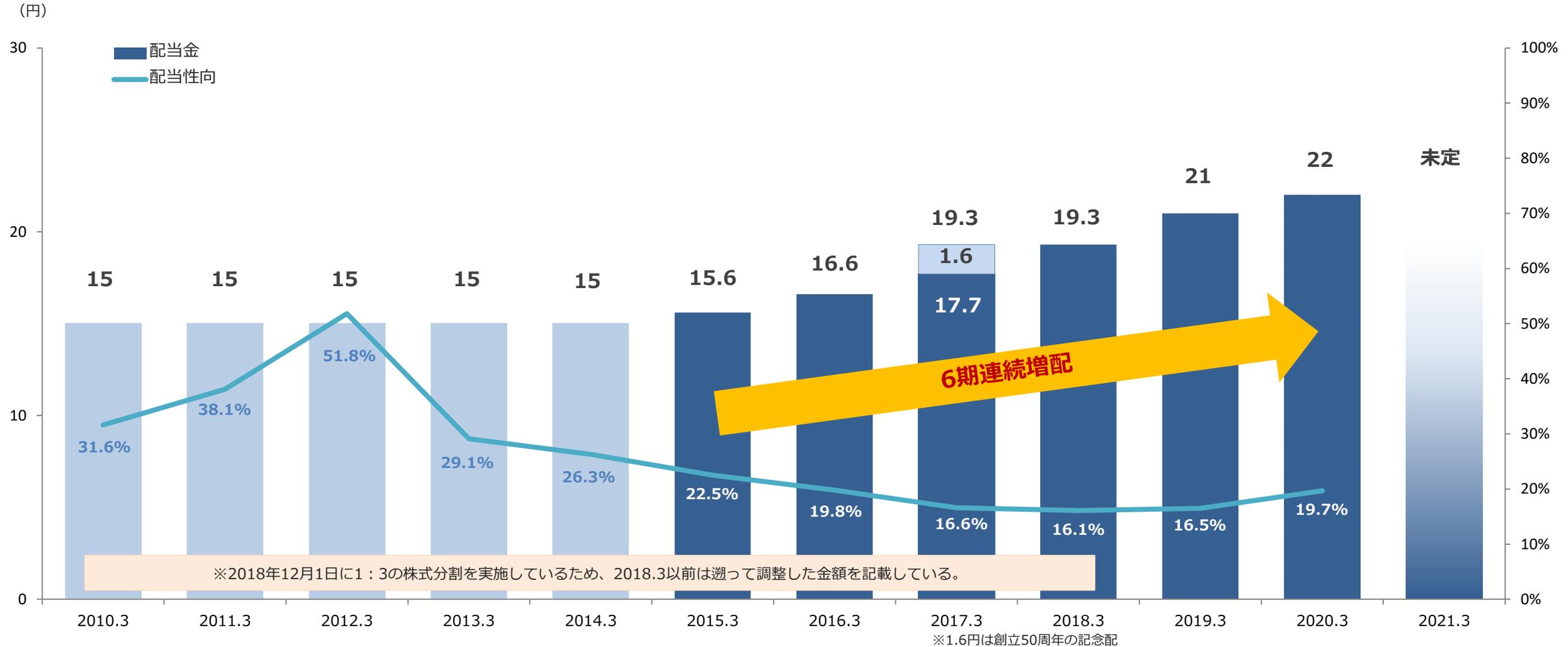
## ◆中部事業所移転（2019年12月）

自動車メーカー様からの要望を迅速にかなえるため、愛知県名古屋市に中部事業所を開設、移転。  
3月末現在、99名（うちBP32名）が在籍。



## ◆前期配当は22円（6期連続増配）

※現時点において2021年3月期の配当予想については未定としております。



できるわけある

 NID

1. 2020年3月期決算概要

2. 中期経営計画の総括

 ~Smile2020~

2021年3月期通期見通しについて

3. トピックス（2019年10月～2020年3月）

**付録：データ資料**

# 主要な経営指標推移

(単位：百万円)

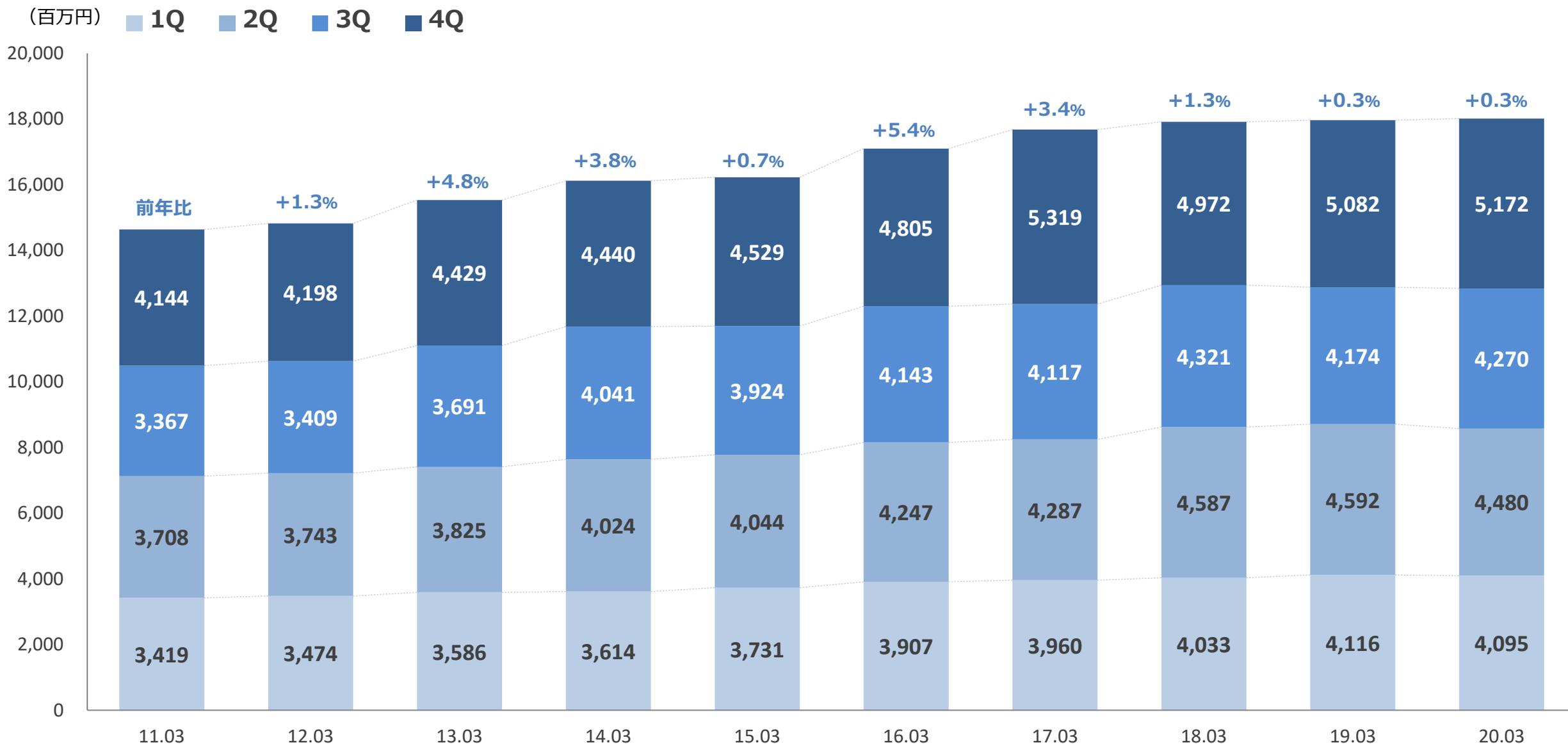
	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期
売上高	15,531	16,119	16,228	17,102	17,683	17,913	17,964	18,017
増減率	(+4.8)	(+3.8)	(+0.7)	(+10.1)	(+3.4)	(+1.3)	(+0.3)	(+0.3)
営業利益	1,011	1,411	1,415	1,544	1,834	1,826	1,983	1,940
率(対売上高)	(6.5)	(8.8)	(8.7)	(9.0)	(10.4)	(10.2)	(11.0)	(10.8)
増減率	(+16.1)	(+39.6)	(+0.3)	(+52.7)	(+18.8)	(△0.4)	(+8.6)	(△2.2)
経常利益	1,090	1,500	1,558	1,717	1,967	2,015	2,168	2,279
親会社株主に帰属する 当期純利益	585	646	791	957	1,304	1,362	1,444	1,266
率(対売上高)	(3.8)	(4.0)	(4.9)	(5.6)	(7.4)	(7.6)	(8.0)	(7.0)
増減率	(+77.8)	(+10.4)	(+22.4)	(+63.6)	(+36.3)	(+4.4)	(+5.9)	(△12.4)
1株あたり 当期純利益(EPS)	51.59	56.95	69.67	84.27	114.90	119.99	127.24	111.53
純資産	6,929	7,386	8,348	9,042	10,253	11,419	12,699	13,588
株主資本利益率(ROE)	8.9	9.0	10.2	11.0	13.5	12.6	12.0	9.6
1株あたり配当額	15円	15円	15.6円	16.6円	(注) 19.3円	19.3円	21円	22円
配当性向	29.0%	26.3%	22.5%	19.8%	16.8%	16.1%	16.5%	19.7%

(注) 17年3月期の配当額のうち1.6円は記念配当

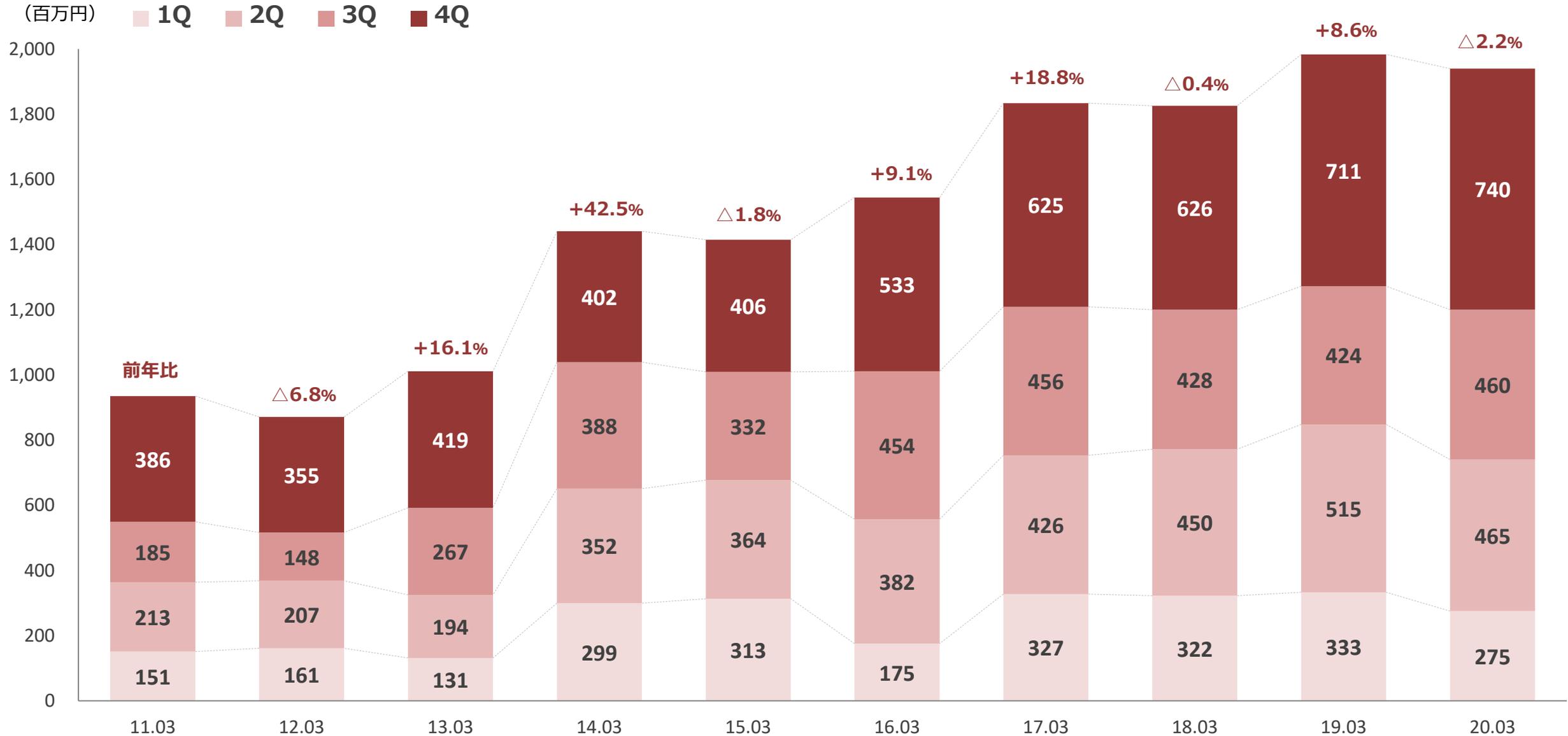
# 株価と出来高の推移



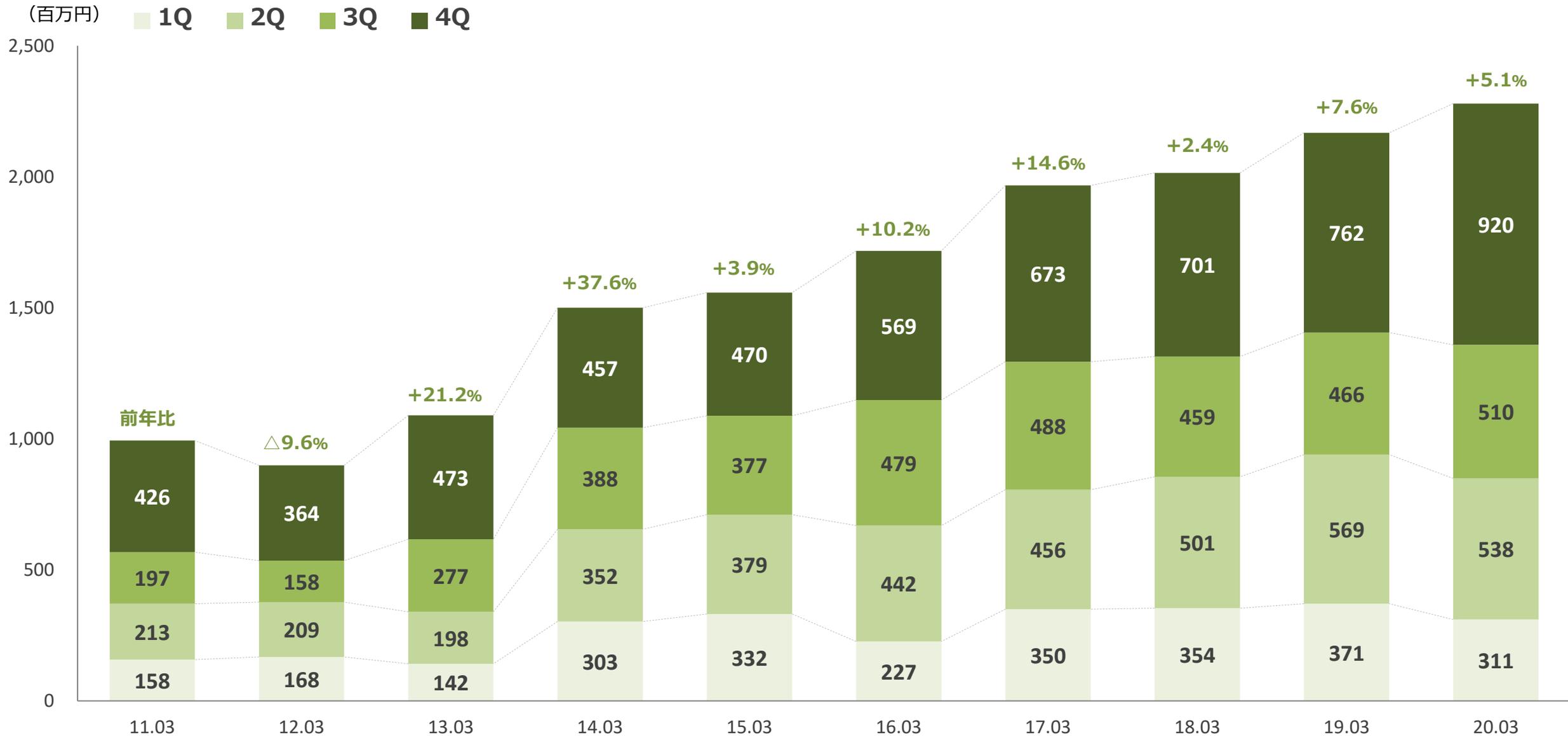
# 売上高の推移 (2011.3~2020.3)



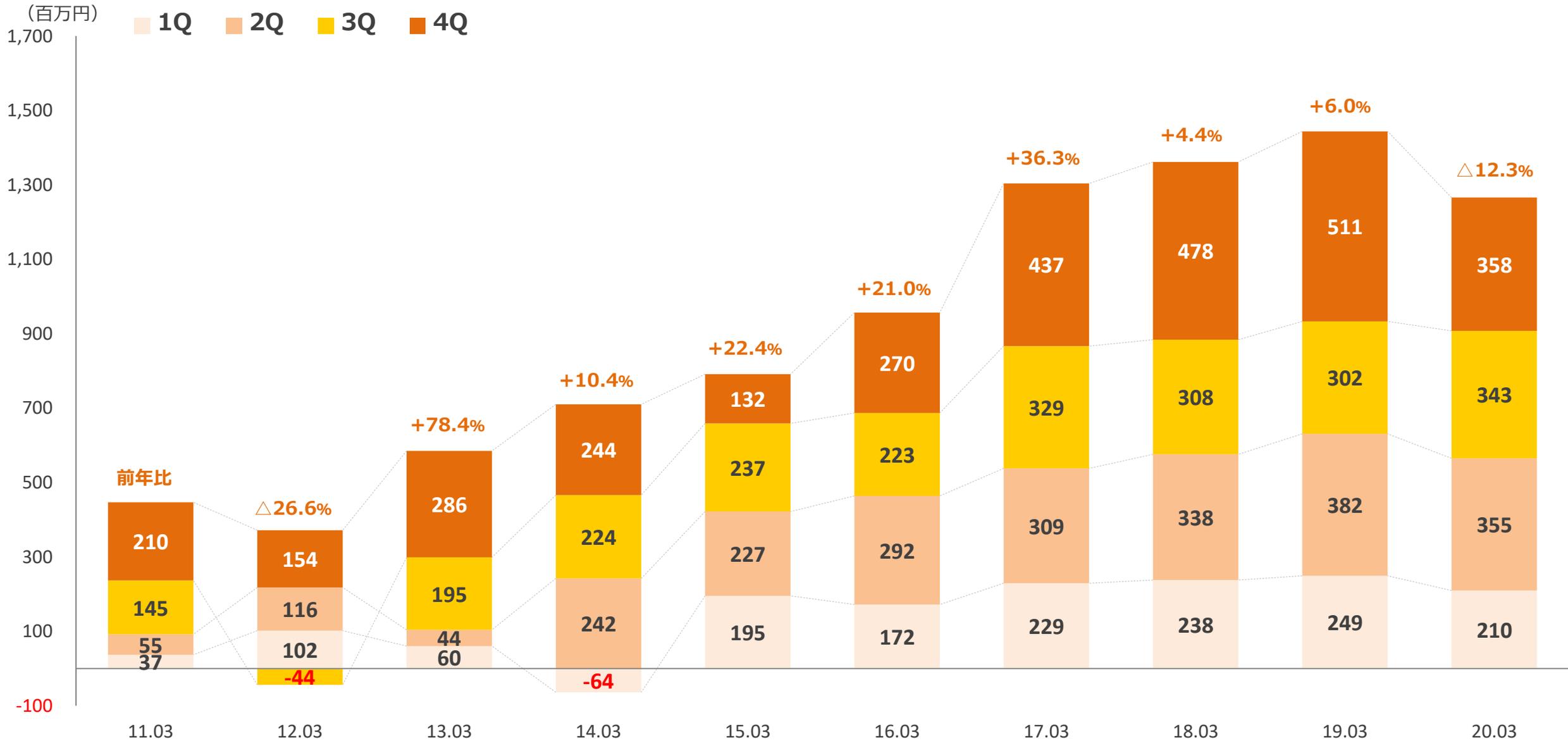
# 営業利益の推移 (2011.3~2020.3)



# 経常利益の推移 (2011.3~2020.3)



# 当期純利益の推移 (2011.3~2020.3)



社名	株式会社エヌアイデイ (英社名：Nippon Information Development Co.,Ltd.)
所在地	東京都中央区晴海1-8-10
設立	1967年5月
資本金	6億5,335万円
事業内容	システム開発事業、システムマネジメント事業、その他事業
連結子会社	3社（NID・MI<千葉県>、NID東北<宮城県>、NID air<東京都>）
社員数	連結：1,595名 単体：1,063名（2020年4月1日現在）
発行済株式数	13,109,490株
株主数	783名（2020年3月末現在）

